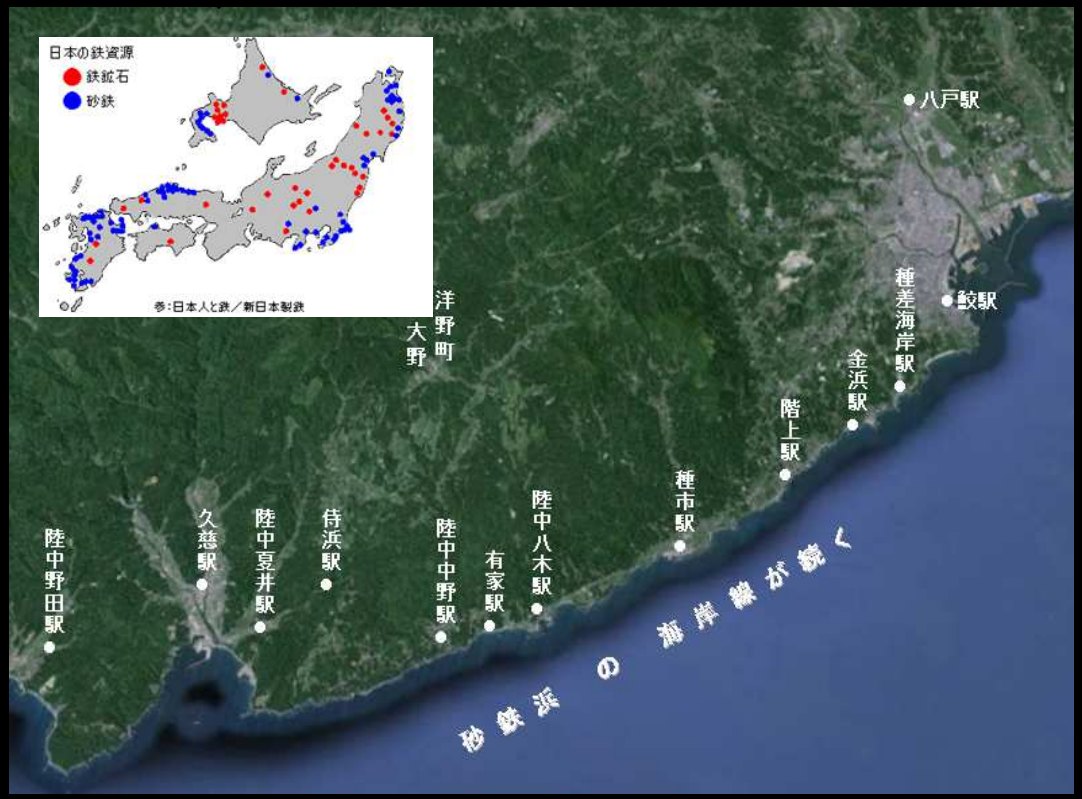
東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地 「釜石」　近代製鉄発祥の地「橋野・大橋鉄鉱山」を訪ねる　2014.6.7.
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる　蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??　2014.6.8.
3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 &普代・黒崎を訪ねる　龍泉洞・北緯40度地球村　普代　2014.6.7.&6.8
4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・周辺の砂鉄浜　有家海岸　&　種差海岸　2014.6.9.
5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今三陸の街の今　コメントなしのPhoto集　2014.6.7.-6.9.

4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

- ◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜　洋野町有家海岸
- ◆ 砂鉄浜　八戸　種差海岸を歩く



久慈の街そして久慈の製鉄関連遺跡を訪ねられなかったのは残念ですが、また　次の機会に。
久慈から八戸にかけては日本有数の砂鉄の宝庫
内陸部に砂鉄鉱床があるばかりでなく、沿岸の浜にも砂鉄が堆積し、砂鉄浜が続く。
久慈から八戸へ　三陸沿岸のIron Road 探訪の最後の旅では　この砂鉄浜を久慈から八戸線に乗って　車窓より砂鉄浜を訪ねます

●八戸駅
●鮫駅
種差海岸駅●
金浜駅●
階上駅●
種市駅●
陸中八木駅●
有家駅●
陸中中野駅●
侍浜駅●
陸中夏井駅●
久慈駅●
陸中野田駅●
洋野町
大野

砂鉄浜の海岸線が続く

4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

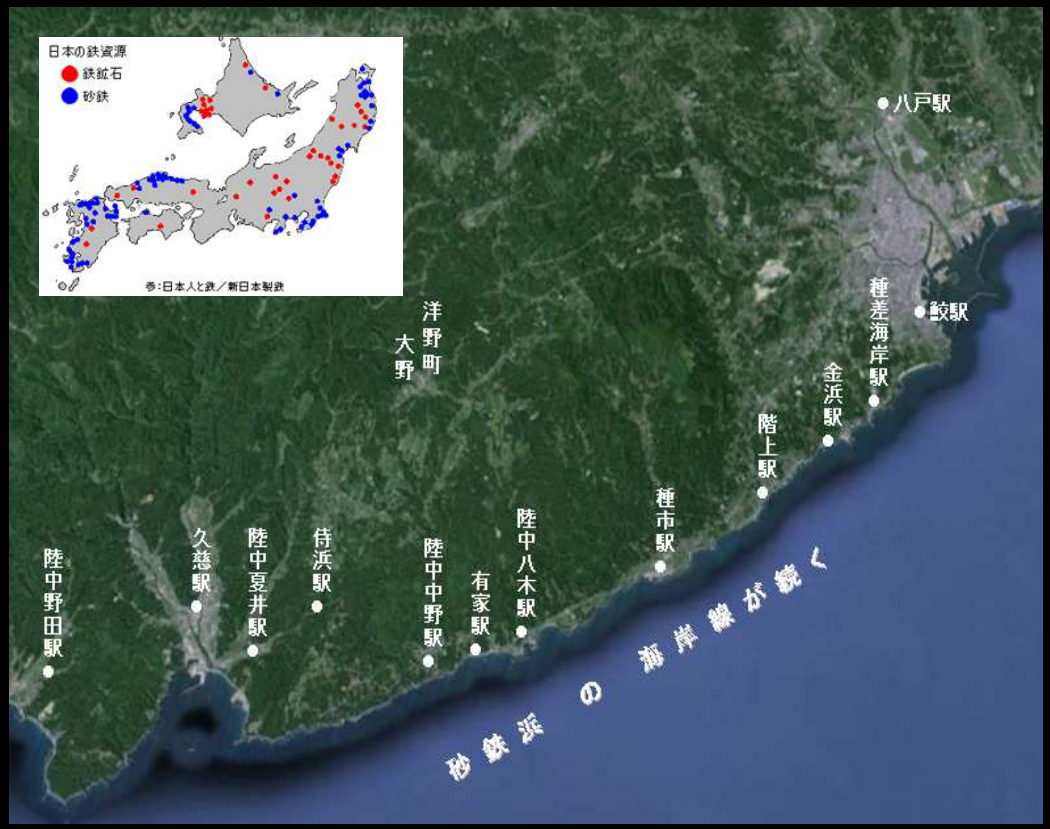
・ 八戸線　久慈　9:47発八戸行　　11:06　種差海岸　着

車窓より　インターネットで調べた三陸海岸　中野・有家駅周辺の砂鉄浜を眺める

・ 種差海岸の砂鉄浜を歩いて、浜からバスで鮫駅または八戸駅へ

実際にはバス・列車連絡悪く、種差海岸からwalk　13:00 鮫駅 まで出て、
鮫駅から　市内バスで八戸駅へ出ました。　八戸着 14:00

・新幹線　八戸駅15:06　はやぶさ24号で東京へ



◎　三陸沿岸Walk 3日目午後　2014.6.9.午後

9:35　　普代から三陸鉄道で　霧雨の久慈駅着
久慈のたたら館はすでになく、江戸時代　八戸藩南部の鉄の素材の重要な生産地であった「大野鉄山」の地、ならびに大野にある砂鉄鉱床の露頭をみたかったのですが、どうしても列車の連絡が取れず。
また、次の列車は12:53で、久慈滞在約2時間では旧たたら館資料の展示があると聞く民俗資料館や砂鉄浜の侍浜海岸などへ霧雨の中行くにはちょっとアクセスが心もとない。

9時47分八戸行の列車に間に合うので、今回は残念ながら久慈Walkをあきらめ、そのまま八戸へ向かうことにした。

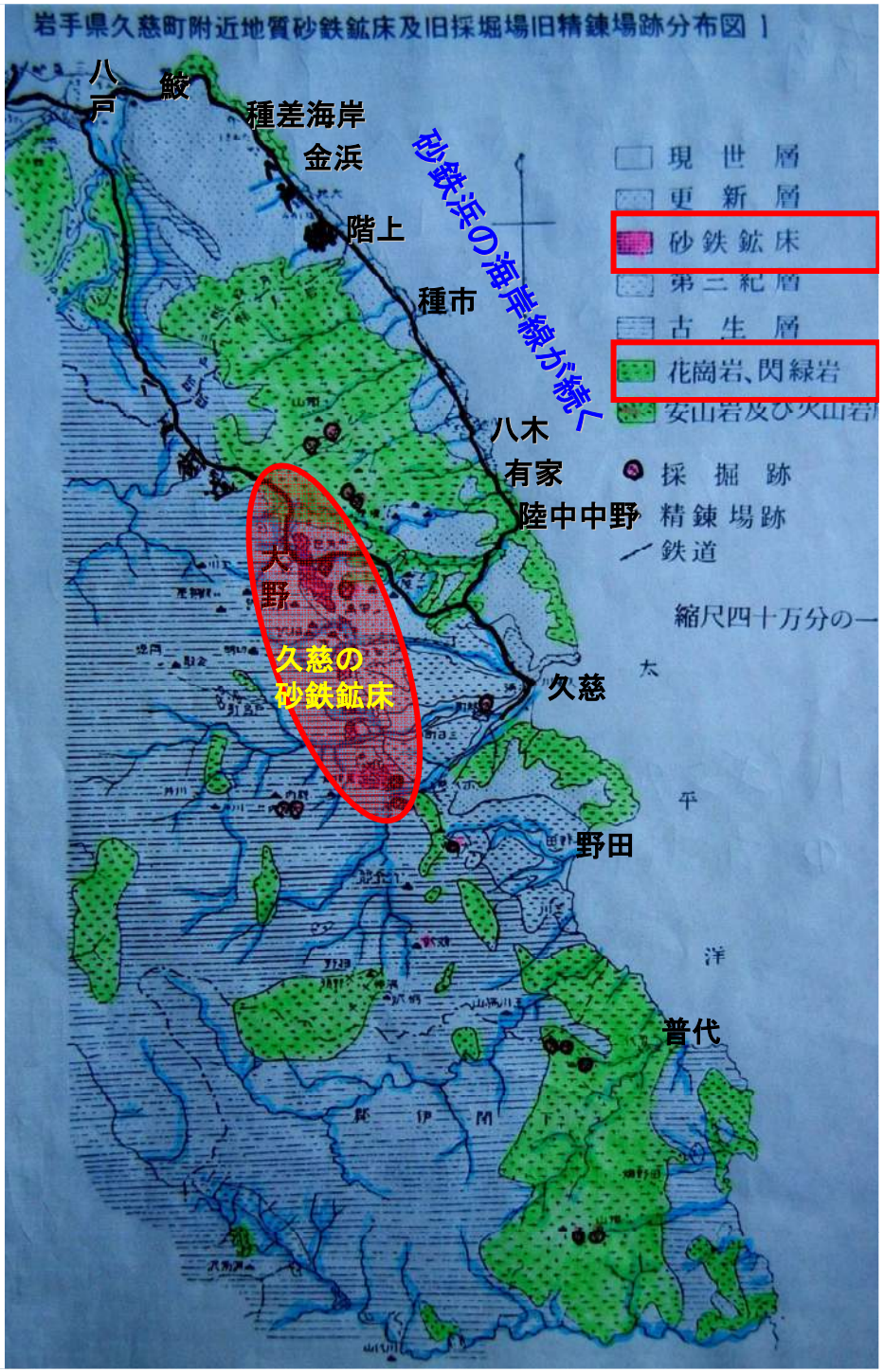
この八戸線は三陸沿岸に沿って八戸へ向かうので、浜が見えるので、浜に堆積した砂鉄が見えるはず。
日本でも有数の砂鉄の産地　久慈から八戸にかけての砂鉄浜ぜひ見ておきたい。
また、八戸の種差海岸の砂鉄浜をすこし　歩いてみたい。
八戸まで出れば、連絡悪くても新幹線八戸駅へは何とかなる。

そうと決まるとあまり時間がない。久慈の駅の外に出て、20数年前　「Iron Road・和鉄の道」の名前が浮かんだ久慈の駅前の写真を撮って、八戸線の列車に乗り込む。

この沿線にいれば、風来坊　どこで降りてもまたすぐに列車に戻れるので、気楽である。

砂鉄の宝庫　八戸・久慈周辺の砂鉄　概要

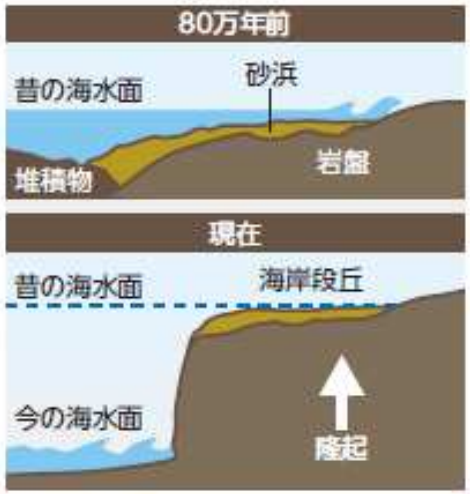
その周辺の沿岸には砂鉄が堆積する砂鉄浜続く



砂鉄資源そして南部馬を育てた久慈・八戸周辺海岸部の平坦な地形
海岸隆起によって海底が持ち上がってできた海岸段丘

久慈周辺の海岸段丘の分布図

侍浜町や三崎半島をはじめ、海岸部にはなだらかな台地が広がり、古くから牧畜に利用されてきました。この地形は、数十万年前の海底が隆起して、高台に平坦な地形が残されたものです。



イメージ　海岸段丘の成り立ち

三崎半島に残る大地の隆起の痕跡

隆起の痕跡、海岸段丘

波の浸食により平らになった海底が、隆起することで台地上に平坦な地形が生まれます。これを繰り返して作られた階段状の地形が海岸段丘です。海岸段丘上では農業や酪農などが営まれています。

■海岸段丘に関する観察ポイント
p.16　北野牧
p.23　川崎製鉄元山砂鉄採掘場跡

北上山地から流れ出た砂鉄が海底に堆積
その海底が隆起し、豊富な砂鉄資源を形成

海底の隆起が作った砂鉄資源

元山砂鉄採掘場跡は川崎製鉄久慈工場が製鉄の原料となる砂鉄を採掘した場所です。この採掘場の砂鉄はドバ(※1)といい海底の隆起(※2)により誕生した砂鉄鉱床です。また久慈工場はたたら製鉄の歴史に残る製錬技術を導入した先進的な工場でした。

海底の隆起が作った砂鉄鉱床

元山の砂鉄層は、標高約250mの高台にあります。この砂鉄層は、かつて海底に堆積した砂鉄が隆起により山の上に持ち上げられたものです（採掘場のある場所は海岸段丘といいます）。

その埋蔵量は、国内最大規模と言われています。この砂鉄鉱床は三陸海岸の隆起が生んだ大地の遺産なのです。

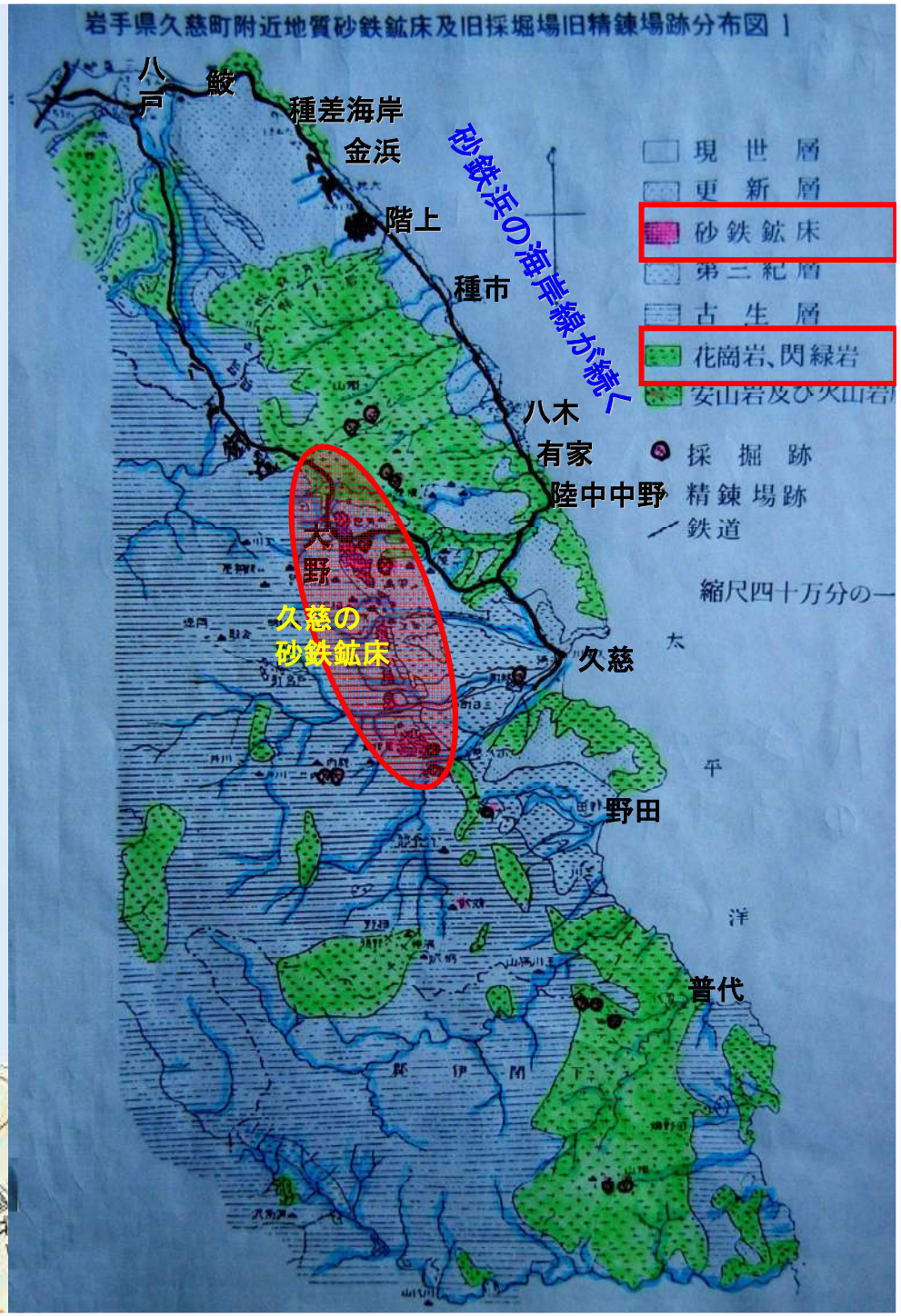
洋野町　大野運動場　砂鉄層

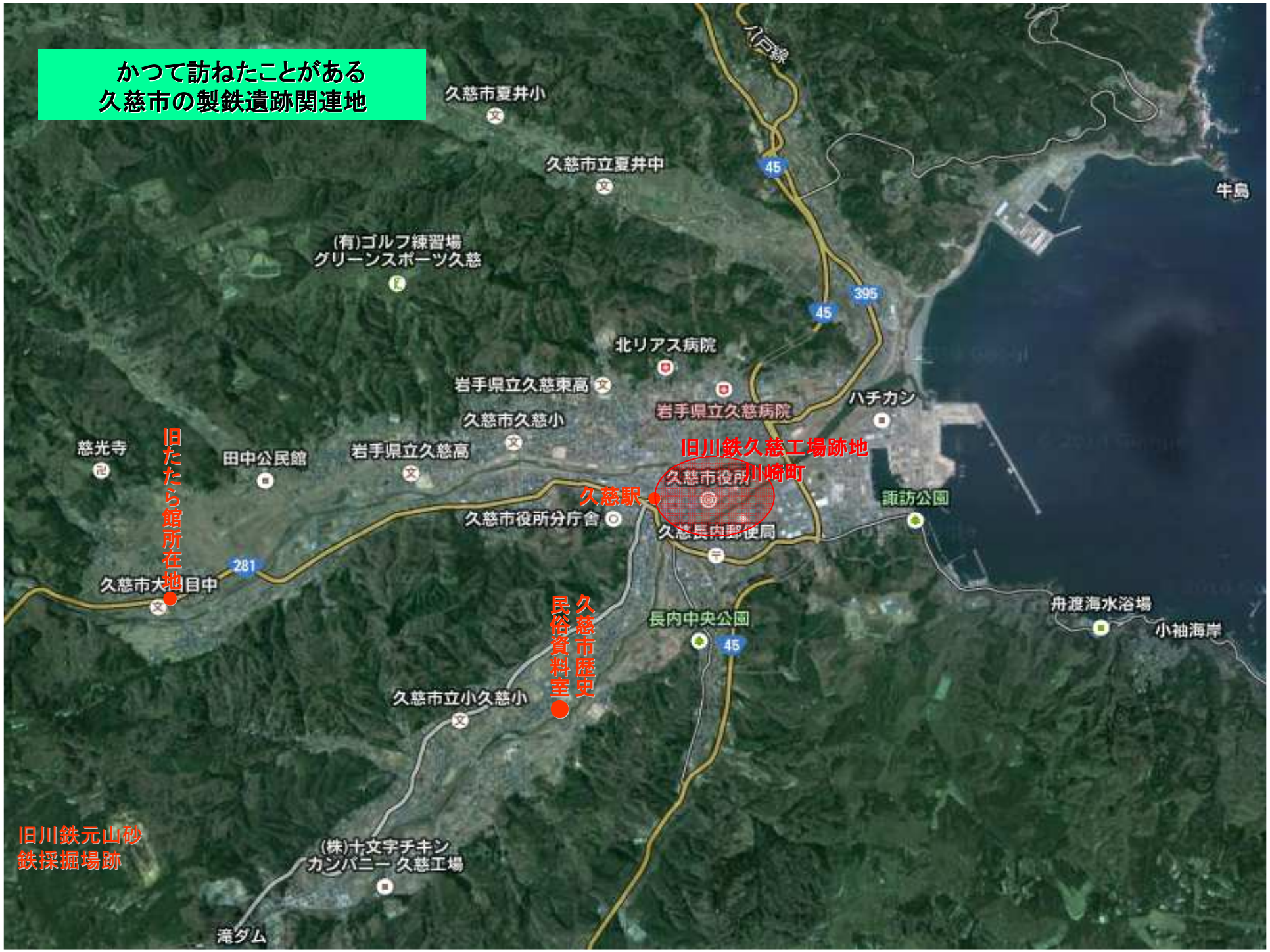
砂鉄層の成り立ち　イメージ

元山砂鉄採掘場跡　遠景

久慈周辺の海岸段丘の分布図

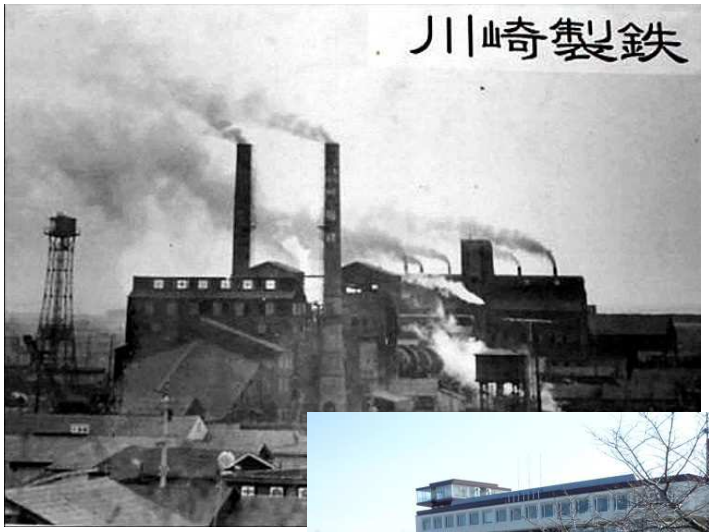
八戸
鮫
種差海岸
金浜
階上
砂鉄浜の海岸線が続く
種市
洋野
八木
有家
陸中中野
軽米
大野
久慈の
砂鉄鉱床
九戸
久慈
野田
平庭峠
葛巻
普代
田野畑


岩手県久慈町附近地質砂鉄鉱床及旧採堀場旧精錬場跡分布図 1
八戸
鮫
種差海岸
金浜
階上
砂鉄浜の海岸線が続く
種市
八木
有家
陸中中野
大野
久慈の
砂鉄鉱床
久慈
野田
普代
現世層
更新層
砂鉄鉱床
第三紀層
古生層
花崗岩、閃緑岩
安山岩及び火山岩
採掘跡
精錬場跡
鉄道
縮尺四十万分の一


かつて訪ねたことがある
久慈市の製鉄遺跡関連地
久慈市夏井小
久慈市立夏井中
八戸線
45
牛島
(有)ゴルフ練習場
グリーンスポーツ久慈
395
45
北リアス病院
岩手県立久慈東高
岩手県立久慈病院
ハチカン
久慈市久慈小
旧川鉄久慈工場跡地
川崎町
慈光寺
旧たたら館所在地
田中公民館
岩手県立久慈高
久慈市役所
久慈駅
諏訪公園
久慈市役所分庁舎
久慈長内郵便局
281
久慈市大目中
久慈市歴史民俗資料室
長内中央公園
45
舟渡海水浴場
小袖海岸
久慈市立小久慈小
旧川鉄元山砂鉄採掘場跡
(株)十文字チキンカンパニー 久慈工場
滝ダム

久慈周辺は砂鉄(ドバ・渇鉄鉱)の大産地　この砂鉄を利用した近代的な海綿鉄の量産
この砂鉄を使って昭和40年代まで海綿鉄を製造した川崎製鉄久慈工場

久慈周辺は砂鉄(ドバ･渇鉄鉱)の大産地
この砂鉄を使って昭和40年代まで近代的な海綿鉄の量産製造した川崎製鉄久慈工場があった小久慈地区。
昭和42年(1967年)川崎製鉄久慈工場閉鎖後、その工場跡地に久慈市役所が昭和49年(1979年)に移設され、
それから40年、工場跡地は行政、文化、ショッピングの新開地･川崎町として発展し現在に至っている。



4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

久慈から八戸にかけては日本有数の砂鉄の宝庫
内陸部に砂鉄鉱床があるばかりでなく、沿岸の浜にも砂鉄が堆積し、砂鉄浜が続く。
久慈から八戸へ　三陸沿岸のIron Road 探訪の最後の旅ではこの砂鉄浜を久慈から八戸線に乗って訪ねます

- ◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜　洋野町有家海岸
- ◆ 砂鉄浜　八戸　種差海岸を歩く

●八戸駅
●鮫駅
種差海岸駅●
金浜駅●
階上駅●
種市駅●
陸中八木駅●
有家駅●
陸中中野駅●
洋野町大野
侍浜駅●
陸中夏井駅●
久慈駅●
陸中野田駅●

砂鉄浜の海岸線が続く

1992年4月「アイアンロード」・「和鉄の道・Iron Road」の言葉が浮かんだ地　久慈駅前

三陸鉄道・JR久慈駅が並び立つ駅前　インターネットより採取

久 慈
くじ
Kuji

3

久 慈
くじ
Kuji
JR

久 慈
くじ
Kuji
陸中夏井

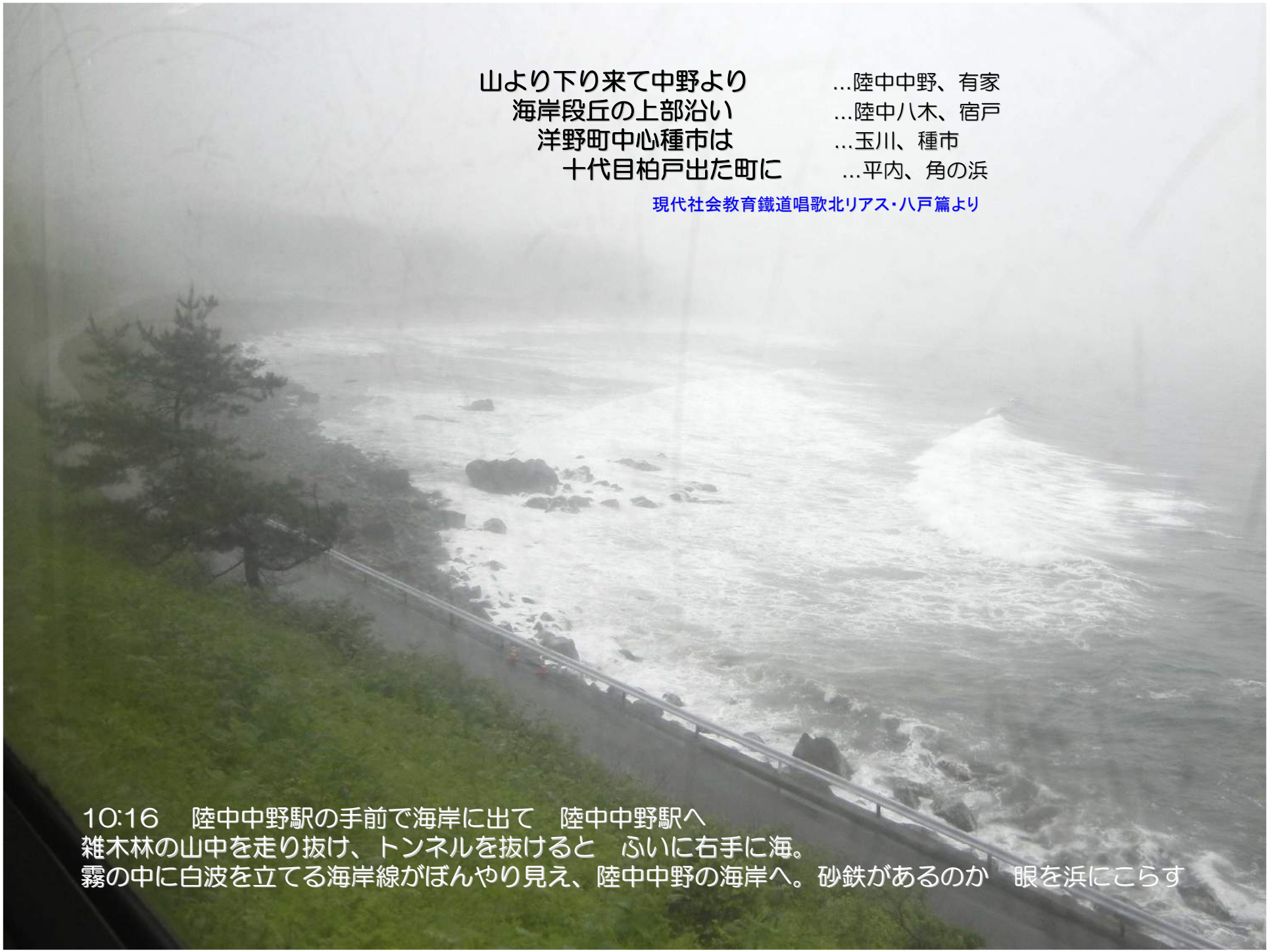
9:51 少し遅れて 八戸線　八戸行が久慈駅を出て　久慈川を渡って北に向かう　2014.6.9.

久慈周辺の海岸段丘の分布図

久慈よりＪＲ八戸線 … 久慈
久慈川渡って海を指す
一番北の海女さんに … 陸中夏井
砂鉄に琥珀も掘った跡 … 侍浜

現代社会教育鐵道唱歌北リアス・八戸篇より

9:55 夏井駅
相変わらずの霧雨の中　久慈の街中を抜け、住宅地と林がまじりあう夏井駅。
ここから、列車は小さな谷間を抜け　広い海岸段丘の上に出て　侍浜へ
まだ　海岸は見えないが、侍浜から北へ続く海岸段丘の縁の浜は砂鉄が堆積する砂鉄浜である


山より下り来て中野より　…陸中中野、有家
海岸段丘の上部沿い　…陸中八木、宿戸
洋野町中心種市は　…玉川、種市
十代目柏戸出た町に　…平内、角の浜
現代社会教育鐵道唱歌北リアス・八戸篇より
10:16　陸中中野駅の手前で海岸に出て　陸中中野駅へ
雑木林の山中を走り抜け、トンネルを抜けると　ふいに右手に海。
霧の中に白波を立てる海岸線がぼんやり見え、陸中中野の海岸へ。砂鉄があるのか　眼を浜にこらす

10:16　陸中中野・有家駅周辺の海岸

10:16　有家駅周辺の海岸
霧雨に煙る浜が見えているが、浜の状態はよくわからず　まもなく有家駅

陸中八木
有家駅
砂鉄が堆積した浜が続く　有家駅周辺
google写真にも　浜に堆積している砂鉄がよく見える
Google

10:18　砂鉄浜　有家海岸
有家駅を出てすぐ、列車の下の浜に砂鉄がづっと続いているのが見える

北三陸の砂鉄浜　八戸線　洋野町有家海岸　2014.6.9.

北三陸の砂鉄浜　八戸線 洋野町有家海岸 2014.6.9.

10:22　砂鉄浜に沿って北へ走ってきた列車は陸中八木駅へ

10:25　有家駅ー宿戸駅間の砂鉄浜　　宿戸駅のある丘が見えている　2014.6.9.

有家駅ー宿戸駅間の砂鉄浜　　宿戸駅のある丘が見えている　2014.6.9.

岩手/青森の県境　階上岳（岩手県では種市岳と呼ぶ）

10:35　種市駅　岩手県三陸沿岸最北部

洋野町種市
「南部もぐり」潜水技術とウニ漁で有名な街で
種市高校にはこの「南部もぐり」を継承し、工業系の潜水技術を習得できる学科海洋開発科がある

種市の平内駅・角の浜駅を過ぎると青森県階上駅で　八戸はもうすぐである

八戸線は種市から北では　海岸より少し陸地側を走るので　沿岸の浜はよく見えない

10:46　階上駅　青森県三戸郡階上町
ここからはもう　青森県
ウニいちご煮の里の案内板が見える

階上駅の次は大蛇駅 10:57着　そしてその次は八戸市に入って金浜駅
海岸線が見えないのでよくわからないが、「大蛇」「金浜」と続くと製鉄関連地名なのか・・と思えてくる。
でも、「大蛇」は古くからある地名をそのまま駅に。　でも　由来はよくわからないそうだ。
「金浜」と聞くと砂鉄浜に違いない。でも　浜の様子がよくわからず、下車しようかと迷いながら、種差海岸の「白浜駅」で下車。（当初は鮫駅まで行って　バスで種差海岸に戻るつもりでしたが・・・・）

11:02　岩手県三陸沿岸から青森県陸奥沿岸に入る　2014.6.9.

金浜駅をでると　まもなく緑の海浜公園によく整備された海岸線が見えてきて、
八戸の観光地「種差海岸」の一角に入ったと。 鮫駅までゆかず、近くで降りて　浜を歩いてみようと決める。

11:07 種差海岸駅

種差海岸駅に到着したが、駅前はひっそりしたもので、浜も見えない。下車しようと思っていたが、次が「陸奥白浜駅」とあり、浜に近いと考え、次の陸奥白浜駅で降りて、浜を歩くことにする。

11:10 陸奥白浜駅下車　駅は無人駅で駅舎もなく、細長いプラットホームが一本あるだけ。浜も見えず。
一瞬戸惑ったが、この案内板が浜への道を教えてくれた。　浜に砂鉄があるだろうか・・・・・

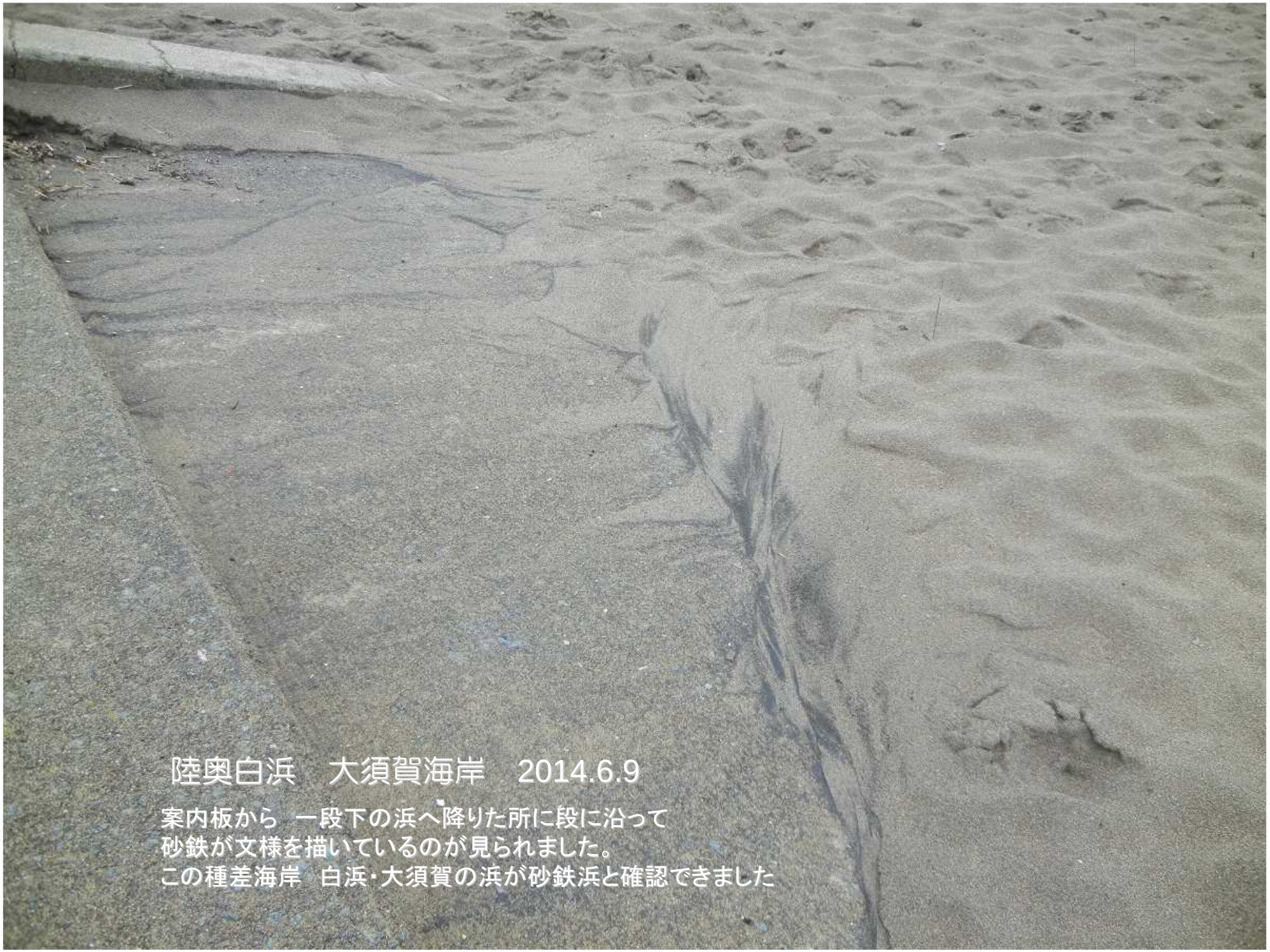
陸奥白浜駅　写真忘れていてインターネットより

陸奥白浜駅より浜へ降りる道　インターネットより

種差海岸　大須賀海岸・白浜　　2014.8.9.

陸奥白浜駅のある段丘の上から東へなだらかな坂道を下って浜に下りると
眼前は広い太平洋の海と長い白砂の浜が南北に広がっていました

白浜から北側へ広く伸びる大須賀浜　砂鉄が堆積して黒ずんでいるのが見える
砂鉄浜　八戸 種差海岸 2014.6.9


陸奥白浜　大須賀海岸　2014.6.9
案内板から　一段下の浜へ降りた所に段に沿って
砂鉄が文様を描いているのが見られました。
この種差海岸　白浜・大須賀の浜が砂鉄浜と確認できました

砂鉄浜　八戸種差海岸　2014.6.9.
陸奥白浜　大須賀海岸

白浜から北側へ広く伸びる大須賀浜　砂鉄が堆積して黒ずんでいるのが見える

砂鉄浜　種差海岸　　左手山側から白浜から流れ込む川の河口周辺　　砂鉄の堆積が多い

砂鉄浜　種差海岸　左手山側から白浜から流れ込む川の河口周辺　2014.6.9.

砂鉄浜　種差海岸　　左手山側から白浜から流れ込む川の河口周辺　　2014.6.9.

種差海岸の北端　霧雨にかすむ八戸葦毛崎へ　浜に沿う松林が美しい　2014.6.9

種差海岸　白浜　振り返えると　浜の南側　種差･白浜漁港方面　2014.6.9.

11:32　大きな岩の横から　浜の背後の松林の中を走る観光道路へ登り、種差海岸の北端へ
景色を眺めながら、北端の葦毛崎展望台から岬を回って反対側の鮫駅へwalk
降りしきる霧雨　風がないのがラッキー　途中路線バスがあれば・・・・と。

11:35　浜の背後の松林の中を走る観光道路を種差海岸の北端へ
景色を眺めながら、北端の葦毛崎展望台から岬を回って反対側の鮫駅へwalk

砂鉄浜　八戸種差海岸白浜　2014.6.9.

種差海岸 大須賀の浜の北端周辺で　　2014.6.9.

種差海岸 大須賀の浜の北端から種差海岸北端で　　海岸に続く岩場を眺めながら
北端の岬　葦毛崎へ　　2014.6.9.

種差海岸 大須賀の浜の北端から種差海岸北端で　　海岸に続く岩場を眺めながら
北端の岬　葦毛崎へ　　2014.6.9.

種差海岸の北端葦毛崎の岬手前から歩いてきた南側の種差海岸を振り返る　2014.6.9.

12:03 土砂降りの雨 種差海岸北端の岬 葦毛崎

12:03　土砂降りの雨の中　葦毛崎を回り込んで西側の沿岸を鮫駅目指して下ってゆく

12:25　岬を回り込んで　街並みが続くところまでに下りてくる。　道脇に八戸線の線路も見え、
八戸線もこの岬を並行して回り込んできたとわかる。
どこまで歩くのかとちょっと心配になっていましたが、ウミネコの繁殖地蕪島　そして八戸の港が遠望でき、
八戸線鮫駅も近いと知れ、やれやれです。

12:40 鮫駅到着　13:40まで、八戸行の列車がない。食事でもと鮫街の通りに出ると十字路の際にバス亭があり、13時過ぎに 八戸行のバスが来ると教えてもらった。
八戸の市街地に行く路面バスに乗り、約40分ほどで八戸駅へ

14:00 八戸駅着　これで今日　神戸まで帰りつけると…。
八戸駅へは是川縄文遺跡や風張縄文遺跡などを訪ねたり、青森の帰りにも立ち寄ったことがあり、知った街並み。
でも　市街地から　遠くぽっかり浮かぶ種市岳の麓　八戸の沿岸部には行ったことがなく、今回　初めて種差海岸を歩けてラッキー。駅前の食堂ビルに入って遅い昼飯。　霧雨の降りしきる街を眺めながら、長かった今日一日　そして、八戸線に乗っての砂鉄浜を振り返る。　20数年前にこの八戸線にも乗ったのですが、全く記憶なく、八戸線沿いの砂鉄浜　そしてそれらを形成した海岸段丘　遠い太古の歴史も知って、今回どうしても行けなかった江戸期南部鉄を支えた内陸部　九戸のたたらや洋野大野鉄山へ　もう一度　久慈・八戸へと。今回は3日間のフルスピード三陸沿岸Iron Roadの旅
結局3日とも霧雨の中の訪問でしたが、これも三陸らしい。
「ビール　もう一杯」と満足感にしたりながら、新幹線へ。　やっと来れた震災後の三陸沿岸のIron road　でした。
三陸沿岸　街そして生活復興はまだ　これから。今回垣間見れた三陸沿岸の姿はしっかり焼き付けた。忘れない。
次に訪れた時には　さらに活力のある人々の笑顔・生活が見られることを願って、
これからも忘れず、応援してゆきたい。　　2014.6.9.　八戸駅で

久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

- ◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜　洋野町有家海岸
- ◆ 砂鉄浜　八戸　種差海岸を歩く

●八戸駅

●鮫駅

種差海岸駅●

金浜駅●

階上駅●

種市駅●

陸中八木駅●

有家駅●

陸中中野駅●

大野

洋野町

侍浜駅●

陸中夏井駅●

久慈駅●

陸中野田駅●

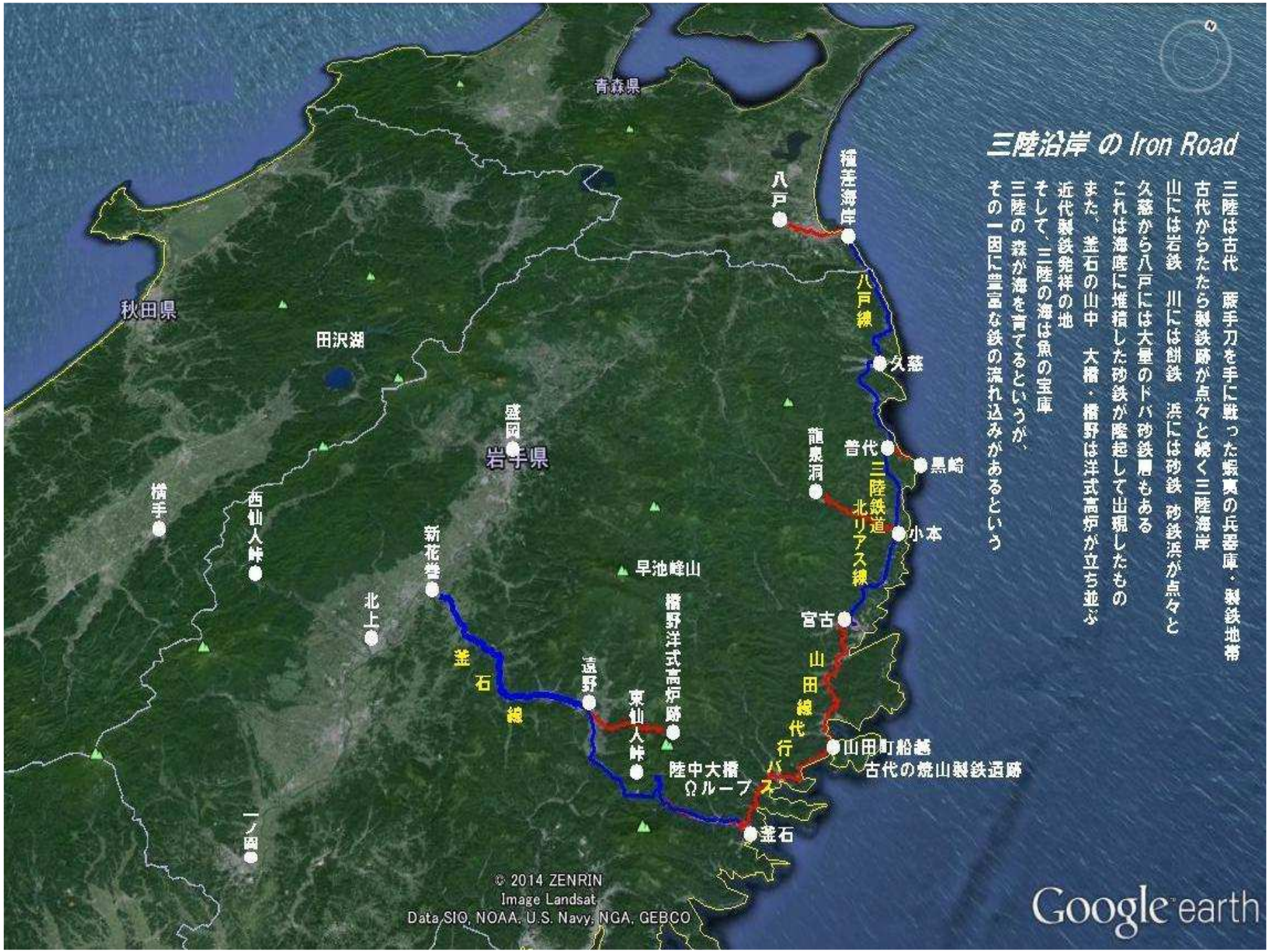
砂鉄浜の海岸線が続く

4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

- ◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜　洋野町有家海岸
- ◆ 砂鉄浜　八戸　種差海岸を歩く

≪　おしまい　≫

2014.9.15.作成　by Mutsu Nakanishi


三陸沿岸 の Iron Road
三陸は古代　蹈手刀を手に戦った蝦夷の兵器庫・製鉄地帯
古代からたたら製鉄跡が点々と続く三陸海岸
山には岩鉄　川には餅鉄　浜には砂鉄 砂鉄浜が点々と
久慈から八戸には大量のドバ砂鉄層もある
これは海底に堆積した砂鉄が隆起して出現したもの
また、釜石の山中　大橋・橋野は洋式高炉が立ち並ぶ
近代製鉄発祥の地
そして、三陸の海は魚の宝庫
三陸の 森が海を育てるというが、
その一因に豊富な鉄の流れ込みがあるという
青森県
秋田県
田沢湖
盛岡
岩手県
八戸
種差海岸
八戸線
久慈
龍泉洞
普代
三陸鉄道
北リアス線
黒崎
小本
宮古
山田線
山田町船越
古代の焼山製鉄遺跡
行バス
釜石
陸中大橋
Ωループ
東仙人峠
橋野洋式高炉跡
早池峰山
遠野
釜石線
新花巻
北上
西仙人峠
横手
一ノ関
© 2014 ZENRIN
Image Landsat
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Google earth